

www.300.com
女子大乳山本

3



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



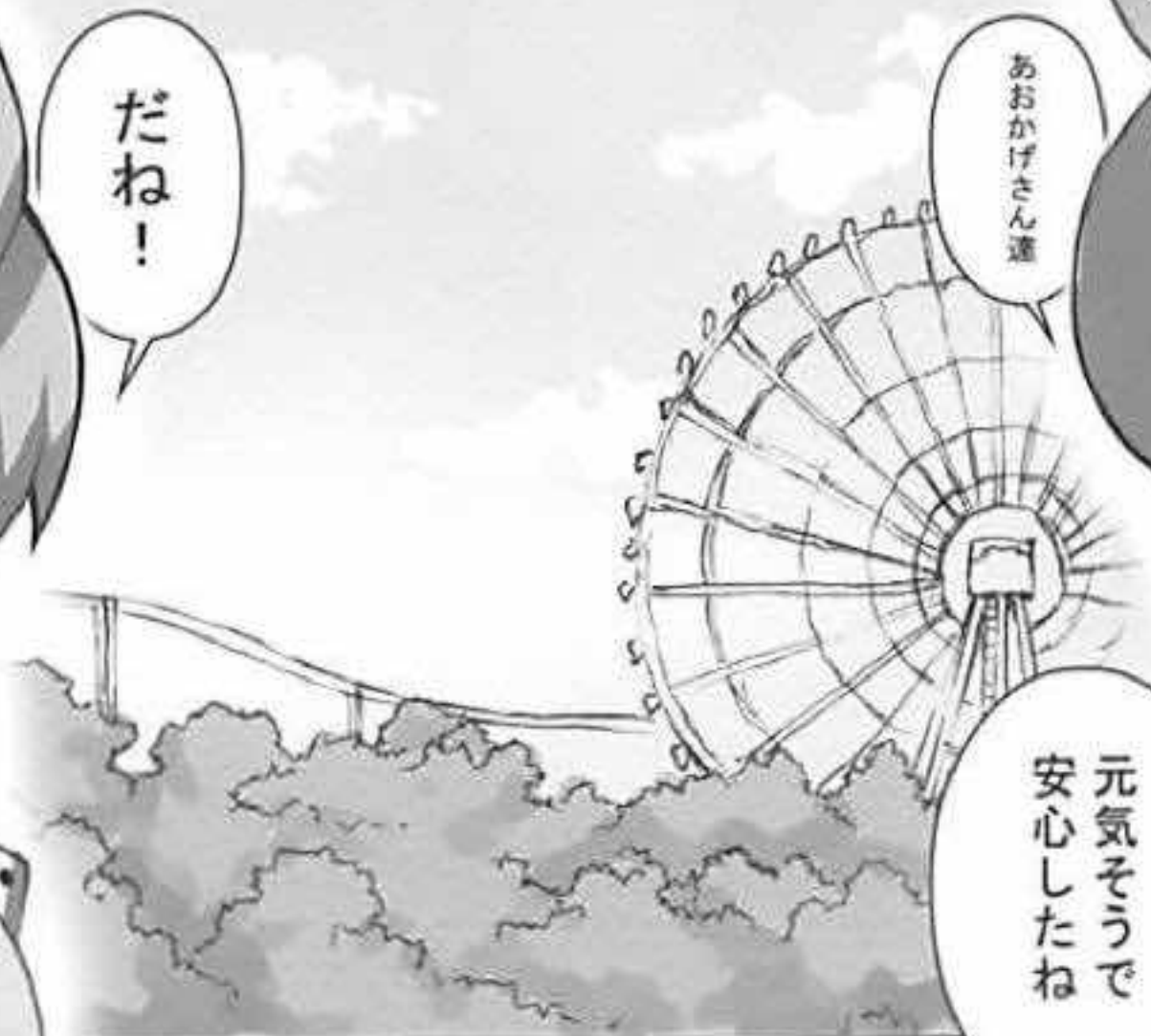
“けいばじょう”で
あおかげさん達の
無事を確認した
僕とサーバルちゃんは

また“みなと”の
方へ一端
戻ってきました



だね!

あおかげの背中に
乗せて貰えて
楽しかったよ!



あおかげさん達

元気そうで
安心したね



今なら誰も
いないし!

サ...
サーバルちゃん...

あれ...

しても
いい?

もじ

...



待ってて

あ
おっほい
致しく
なっちゃんた

たーせー

ほわあ...

はい
かばんちゃん

んみやみや...

アア-

もちゅ



んみや♡

んむ...

んむ...

本当に
おっぱいが
好きに
なったんだね

かばんちゃん

うん…
サーバルちゃんのおっぱい…

柔らかくて
温かくって…

僕、癖に
なっちゃって…

そっか

えへ…
そっ言って
買えと
なんだか
嬉しいなあ

う…
うわああッ!?
た…たヴエツ!!

だあれえええ?



うふふ♪

な〜んて♡

二人が見えたから
脅かそうと
隠れてましたの♪

3人で話すのは
久しぶりですわね
二人とも

あ
カバ!

どうも
お久しぶり
です

ポッ

ポッ

ポッ...

ポッ

どうしましたの
サーバル?

おっぱいなんて
晒して...

グッ

あら?

ああ
これ?



かばんちゃんに
おっぱいを
あげてたの♪

ね♡

サ…

サーバルちゃん…

も…

もうちょっと
誰かに話す時は
遠まわしのな
表現で…

私のおっぱいで
かばんちゃんが
少しヒトについて
思い出せたんだ！

授乳？

サーバルが
ですか？

じゅ…にゅ…？

よく
わからないけど
そう！

そうだ！

ねえカバ

カバも良かったら
そのおっきな
おっぱい…

あとは
あおかけの
背中に乗ったり
とか！

え？

かばんちゃんに
触らせて
あげて欲しいんだ



もしかしたら
かばんちゃんの
記憶の手掛りに
なるかもしれないの

ね…カバ
お願い…

うん…

そうねえ…

私の
おっぱいを？

そう！

私のよりずっと
おっきいし…

タキッ…



強くなったんですね…

久しぶりに
あなたと話す事が
できましたけど…

かばん…



初めて会った
あの時より
弱々しさが減って…

出で立ちに
自信を感じられる
様に見えますわ…



ニッ…

かばん…

は…
はい!



ここまで
頑張ってきた
ご褒美…

…と言うのは
おかしいかも
ですが…

各ちほーの
フレンズ達から
評判も聞きましたわ

私の言った通り
サーバル任せにせず
あなた自身の力でも
ここまで
頑張ってきたん
ですのね…

橋
大きな
芝生看板

りょりり

そり

家作りへの
助言
玉蹴り

サッパ…

よろしくつよ…

くらっくら

かばん



さばんなから
ここまでサーバルと
よく頑張りましたわね…

ほら…

立派ですわ…

毛ちゅ

おかあ…

…ちゅ…

突然：
僕の頭の中に浮かんだ
この言葉の意味は
よくわからないけど…

きつと
カバさんのような
人の事なのかな…

サーバルちゃんのおっぱいが
あおかげさん達と
違ったように…

やっぱり
全然違う…

トイッ…
大きくて柔らかくて…
温かくて…
良い匂い…
優しさに
包み込まれている
みたい…

かばん…
ヒトの手掛かりに
なるかは…
私にも
わかりませんが…

おっぱいが
ヒトの記憶を
思い出せるきっかけの
一つになって
いたのでしたら…

あなた…

まだ

これを
口にした事は
ないんじゃない
かって？

？

おっぱいを
搾ったら
白いお水が…

カバ
何やってるの!?

エ・エー!?
なにそれ!



私はいくら
ぎゅってしても
出ないよ…?



んみゃ…

フミミ…

かばん…
飲んで
みまして?

キキキ…

これは
母乳ですよ
成熟した動物の雌が
自分の子に飲ませる為
出す事のできる
分泌物ですわ



サーバルはまだ
子どもだから
無理なのよ…
お乳を求めるなら
多分ヒトも同じじゃ
ないかしら…

忘れてるだけで
サーバルも
飲んだことはあるはず
でしょうけど…



ええ…
特別に…
良いん
ですか?



いただきます
カバさん...

では...

む♡



母乳...

搾り出します
わよ...

じゃあ
かばん...



ん♡

カバさんのおっぱいから
出た：ぼにゆう？が
口の中に溢れた瞬間：
一気に思い出せた
事がある...

おっぱいに初めて
触った時よりも
ずっと強く...

初めて口にした
ものなのに...

僕は...

ん…♡

この感覚と
匂い…
ほにゅうの味を

覚えている
気がする…

グルッ…

サーバルちゃんや
カバさんに
抱きしめられながら
こうしていると

不安な気持ち
が薄れて…

とっても懐かしくて…

安心するのは多分…

おかあさんっていう
言葉と関係しているの
かな…

ん…

キュ…

んむっ…

キュッ

ギョム

いいな
かばんちゃん…

んみゃ…

なんでだろう…
よくわからない
けど…

ずっとこうして
いたい…

幸せだなあ…

我慢
できない!

カバ!
私も吸って
いくい?

え?

キュ…

キウ

キキ

ちよっと…

タッポッ
キッ

んにやあ…

ああん…

サーバルも
ですの…

かばんを見ていて
赤ちゃん猫の頃を
思い出しちゃったの
かしら…

もう…

んみや…

勢いで
噛まないで
頂戴よ…

あなたの歯は特に
鋭いんだから…

んみや…

もちゅ



まったく…

サーバルも
おっぱいに夢中になっ
ちやうなんて…

大きな
赤ちゃん猫
ですわねえ…

んっ…

んむ…

んみや…

んみや…

ん…



んみやく...

なんだろう...

とつても

懐かしい味と

安心する感じ...

かばんちゃんが

おっぱいを好きに

なったのも...

カバさんの
おっぱいを...

夢中に吸って
いたら...

ク...

なんだか
わかった気が
するよ...

ク

ク

ク...

これからの
不安な気持ちも

ほとんど

無くなっていて...

ダッ

僕...

なんだか

眠くなって

きちゃ...た...

ウト...

あ...

かばん...?

スヤ

スヤ

寝ちゃった
のね...

何か
思い出せたのか
聞きそびれて
しまいましたわ…

ここまで色々
あって疲れも
溜まっていたの
かしらね…

私のおっぱいも
少しはお役に立てて
いたら良いのだけど…

聞こえて
いますか？

サーバル…

あなたの耳でしか
聞こえないくらいの
声で話しますわよ…

！

…



博士達から
伝言ですわ

あなた達の
乗ってきた

バス…
でしたっけ？

もうすぐ修理が
終わるそう
ですわよ…



後は…

あの二人が
探しに行った

“まんまる”
が来れば

海を渡る為の
船に改造する
準備が整うらしい
そうよ…

そっか…

アライグマと
フェネック…

今も頑張って
くれてるんだね

わっせ

わっせ

まんまるが
見つからない
のだからー！

まーまー
無さずいーつ
アライグマさん



でもまさか
あなたが
かばんの為に

付いて行く事を諦めて
島に残る方向に
考えるなんて
ねえ…

これから
この壊れたバスを
直して船に改造するの
ですが…

この船に乗る事が
できるのは恐らく
かばん一人になると
思うのです
重量的に…

沢山の食糧、水
荷物を積んだ状態で
かばん含めて
数人がこの
小さい船に乗って
しまうと…

大きな波が来た際
恐らく転覆…
ブクブクなのです
重量的に…

本当は私も
行きたかったけど…

てんぷく…
だっけ…

私のわがままで
かばんちゃんを危険な
目に遭わせちゃう
のなら…

そうねえ…

恐らくかばんは
近いうちに

この島から出る覚悟を
決めるでしょうね…

海の向こうに自分の
仲間の群れが
いるとしたら
なおさらですわ…

かばんちゃんの
ヒト探しの為に
私が我慢しなくちゃ
って思ってる…

この辺りは
さばんなちほーから
島を周って一番最後…

ここまでで
手掛りが無くて
ヒトを最後に見たと
されたのが
この港ならば

もう
海を越えて
探しに行くしか
ないですわ…

だけど
外の世界の大きさは
私も知らない…
とっても果てしない
ものですの…

かばんには…

ここね…

力のある
フレンズだとしても
大変な道ですわ…

でもねカバ…

今のかばんちゃん
すっごいんだよ！

どんなに
この先の世界が
おっきくても

きっと…

きっと
大丈夫だよ！

かばんの成長は
久しぶりに会った時に
顔を見てわかりましたわ

きっとあなたと
沢山の事を見て

感じて、乗り越えて…
ここまで旅して来た事は
容易に想像できましてよ

それに…

黒セルリアン
騒ぎのあの時…

あなたを
助けるために

走りまわって…

空を飛んで…

セルリアンの中を
泳いだそうですわね…

スウ…

スウ…

キユ…

なんにもできない
なんて言葉…
取り消さないと
いけませんわね…

もう
初めて会った時の
弱々しかった
かばんじゃない…

今のかばんなら

きっと一人でも
しっかりやっていけると
私も思いますわ…

うん…

そうだよ…

かばんちゃんは
きっと大丈夫…

一人でも…

きつと…

うう…

サーバル…
お聞きなさい…

?

一つ忠告して
おきますわよ…

うん…

うん…

海を泳いで
かばんの船を
追いかける事だけは
絶対に
およしなさい…

あなたの
想像以上に
危険な事なん
ですよ…

海の底を
歩いてでも
止めに入り
ますわよ私…

んみやっ!?

エ・エー…!?

なんで
わかったの!?

まあ…

そんな心境
だろうと思って…
あの後皆で博士に
相談しましたの…

あなたが
乗って行ける船を
作れないかって…

博士…

なんとかして
くれるそう
ですわよ…
あなたの為の船

さばんなで
どれだけあなたと
過ごして来たと思って
いますか?

顔を見れば
わかりますわ
よ…

それじゃ…

私も行けるの?

かばんちゃんと
一緒に…

あの海の
向こうや…

その先も
ずっと…

かばんの旅を
傍にいて
支えてあげられるのは
あなたを置いて
他にはいないでしょう？

何て言ったって
さばんなちほーから
一緒に旅をしてきた
二人なんですから…

違いますか？
サール…

アイ…

んみみ…

カバ…

ありがとう…

あん…

カル…

えへ…

嬉しいから
もう少しだけ

カバの
おっぱいに
甘えさせて

え…
ちゅ…

もちゅ

ハム

フミヤ



…もう

やっぱり…
サーバルもまだまだ
甘えん坊ですわね…

心配ですわ…

二人とも…
島を出ても
頑張るんですよ…

旅は…
楽しい事
ばかりとは限らない…
時には辛い事も
悲しくなる事も…
沢山あるはず…

でも…

今回の騒動に
恐れず立ち向かった
あなた達二人なら
大丈夫…

これから先
どんな困難に
ぶつかっても
乗り越えていける
はずですわ…

それがたとえ
どんなに辛くて
険しくても…
どれだけ時間が
掛かるうとも…

きつと道は
あるはずですよ

あとは
まんまるの到着を
待つだけかと
思っていた矢先
やれやれ

長としての
仕事はまだ増えて
しまいましたわ
博士…

まったくですね
助手…

長として
もうひと頑張り
するのですよ

しかし
こっちの改造は
すぐ済みそう
なのです…

長だけ仕上げにおいて
まんまるが到着次第
サーバルと組み上げれば
パーティ前夜には
もよもよいのです！

良いアイデアが
あるのですよ

幸いな事に
こっちの方に使う
“どうりょくけん”には
最適な奴らがいるので



JAPARI PA

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

イン

ハ



フレンズ達の若干やえっちい本3 お買い上げありがとうございます 塚沢です。
ついにこの人のおっぱいを描く時がやってきた訳で 皆大好き、カバさん本になります
なぜいきなりカバさんの本を出せなかったかと言いますと、ここまでの1、2と
私のけものフレンズ本を手にとって下さって来た方なら感じて頂けていると思いますが
私のけもフレ本はエロ要素はありますが あへあへズコバコするという感じではなく
できる限りアニメ本編と繋がりを持って このキャラならこれくらいのえっちな事を
入れても大丈夫だろうという辺りに抑え、あくまでもアニメの続きを想像できる
優しさ溢れる内容にできるように力を注いでいます。 話としては1が 9.9話
2が12.4話 そして今回の3がパーティ前の12.8話くらいの感覚です。
1からかばんちゃんがおっぱいに興味を持ち、2であおかげちゃん達のおっぱいを触り
サーバルちゃんとは全然違うおっぱいなんだと知っていき、今回満を持して12話中
最大級の母性を持ったカバさんがおっぱいを与えてくれる事でようやく 母 という感覚
母のおっぱいと母乳 というヒトのおっぱいに対する原初の記憶をかばんちゃんが
思い出す、という展開へ持って行きたかったため 敢えて最初にカバさんの本は
作らなかった訳です。 123でようやく1つの本になると言っても良いかもしれません
描きたくて仕方なかったですよ本当…カバさんのおっぱい ようやく描く事ができました。

かばんちゃんの成長をカバさんも認めるっていうのも1話との対比で描きたかったシーンでした

かばんちゃんにおっぱいを吸わせてあげるサーバルちゃんも母性がありましたが
やはり流石サーバルちゃんとかばんちゃんの母親的存在 描いていて感じた母性が半端ない
今回、12話でかばんちゃんを追いかける為の船はどうして作られたのか というのを
描きたくて、始めは博士達が言ったようにジャパリバスの前部分だけでは大人数で行けない
沈む可能性がある、と聞かされサーバルちゃんは一端諦めようとしたんじゃないか と思い
ですがそこはカバさん、かばんちゃんの次にサーバルと交流が深いであろうカバさんは
サーバルの友達でもありお母さんな訳です。サーバルちゃんが何をしたいのか全てお見通し
友達でもあり、自分の我が子の様に思っているサーバルちゃんが一番やりたい事の為に
博士にもう一隻用意できないかと頼んでくれたから 博士はバスの後ろも動くように改造に
着手してくれたと私は解釈してみました。 博士が夜目で夜暗い中作ってる最後のコマは
結構気に入ってたりします 博士にかかればバスの改造などちょいちょいなのです。
なぜアライさん達のばすてきな物がドッキングしたのか こんな感じで繋がったら面白いな
と今回の話の流れは自分も気に入っています。 今回の本でとりあえず島内でかばんちゃん
達に自分の中でやらせたいおっぱいに触れていく若干やえっちいお話はやりきった感が
あります。 この3冊をアニメの続きとして、たーのしーと感じて頂けていたら幸いです
ですがまた何かやりたい事が思い浮かんだらけもフレの漫画は描きたいと思います。

若干やえっちい本3部作楽しんで下さりありがとうございました、ではまた by塚沢

オムニバス

けものフレンズプロジェクト二次創作枠

オムニバスのプロジェクト

けものフレンズプロジェクトおっばい

おもしろいぞい

